

# 令和3年度 厚生労働省委託事業 在宅医療関連講師人材養成事業 研修会 ～高齢者を対象とした在宅医療分野～

**日時** 事前学習：2021年10月8日（金）～  
ワークショップ：2021年10月24日（日）13:00～16:30

**形式** 事前学習：オンライン学習  
ワークショップ：Zoomを用いたオンライン開催

**目的** 全国都道府県医師会から推薦された受講者の先生方が、地域において在宅医療に関する地域の実情を踏まえ、推進活動をするためのリーダー役、そして様々な研修会の講師役となるように本研修を位置付ける。

総司会：鶴岡 優子（日本在宅医療連合学会）

## プログラム [事前学習]

<b>第1部</b>	<b>総論</b> （1講義30分、計120分） ※必須学習
	<b>1 在宅医療におけるかかりつけ医の役割</b> 江澤 和彦（日本医師会）
	<b>2 在宅医療における都道府県医師会の役割 ～福井県医師会の取り組みから～</b> 池端 幸彦（福井県医師会）
	<b>3 行政から見た地域の様々な取り組み</b> 田中 明美（厚生労働省）
	<b>4 在宅医療に関する諸費用 ～医療費、介護費用、その他社会保障制度など～</b> 島田 潔（全国在宅療養支援医協会）
<b>第2部</b>	<b>テーマ別学習</b> （1講義20分、計120分） ※必須学習
	<b>1 災害時における在宅医療</b> ～国の取り組みと日本在宅ケアアライアンスの取り組み～ 武田 俊彦（日本在宅ケアアライアンス）
	<b>2 Covid-19への対応 ～自宅療養における診療プロトコル～</b> 石垣 泰則（日本在宅医療連合学会）
	<b>3 都市医師会での事例</b> ～在宅医療・介護連携推進事業をてこに地域包括ケアを次のステージに進める～ 川越 正平（松戸市医師会）
	<b>4 市民が選ぶケアの選択 ～ACP(意思決定支援)、「看取り」への対応～</b> 稲葉 一人（中京大学法務総合教育研究機構）
	<b>5 フレイル・オーラルフレイル・ロコモティブシンドローム</b> 飯島 勝矢（東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター）
	<b>6 看取りを念頭においた在宅医療（地域緩和ケア）の実際</b> 蘆野 吉和（日本在宅医療連合学会）
<b>第3部</b>	<b>各論</b> （1講義20分、計120分） ※選択学習
	<b>1 在宅ケアにおける薬剤師の役割</b> 雑賀 匡史（全国薬剤師・在宅療養支援連絡会）
	<b>2 在宅ケアにおける管理栄養士の役割</b> 前田 佳予子（日本在宅栄養管理学会）

- 3 在宅ケアにおける訪問看護の役割 ～医師との連携～**  
高砂 裕子（全国訪問看護事業協会）
- 4 在宅歯科医療 現状とその問題点**  
三木 次郎（全国在宅療養支援歯科診療所連絡会）
- 5 介護支援専門員の役割 ～その人らしい生活を支える～**  
坪根 雅子（日本介護支援専門員協会）
- 6 在宅ケアにおけるリハビリテーションの役割**  
堀田 富士子（東京都リハビリテーション病院）
- 7 病院と在宅医療のシームレスな連携**  
織田 正道（全日本病院協会）

## プログラム [ワークショップ] 2021年10月24日（日）13:00～16:30

13:00～13:06	<b>開会挨拶</b> 新田 國夫（日本在宅ケアアライアンス）
13:06～13:09	<b>当事業および受講者に期待すること</b> 鷲見 学（厚生労働省）
13:09～13:12	<b>研修会の開会にあたって</b> 江澤 和彦（日本医師会）
13:15～14:35	<b>総論① 地域医療構想における在宅医療</b> 中西 浩之（厚生労働省）
13:35～14:05	<b>総論② 地域における在宅医療・介護の推進のために ～コロナを経験して～</b> 武田 俊彦（日本在宅ケアアライアンス）
14:05～16:25	<b>ワークショップ</b> 座長：石垣 泰則（日本在宅医療連合学会） 大橋 博樹（日本プライマリ・ケア連合学会） (14:20～15:45) <b>グループディスカッション</b> テーマ「コロナで見えた地域の課題と目指すべき方向」 (15:45～16:10) <b>発表</b> (16:10～16:25) <b>総括</b>
16:25～16:30	<b>閉会挨拶</b> 住野 耕三（在宅医療助成勇美記念財団）